

## 6 WORKBOOK

### 自団体の現状を理解するデータで今を見える化する

#### 課題整理の行い方

課題整理は、EBPMの出発点です。しかし実務では、課題の詳細が明確にならないまま、あるいは粒度が粗い状態のまま、分析や施策検討に進んでしまうことも少なくありません。

本章では、PPDACサイクルに沿って、成果指標（KGI/KPI）、分析目的、仮説、データ分析アプローチ、必要データを整理することで、データ分析を行うことによって「何を判断したいのか」について明確にします。

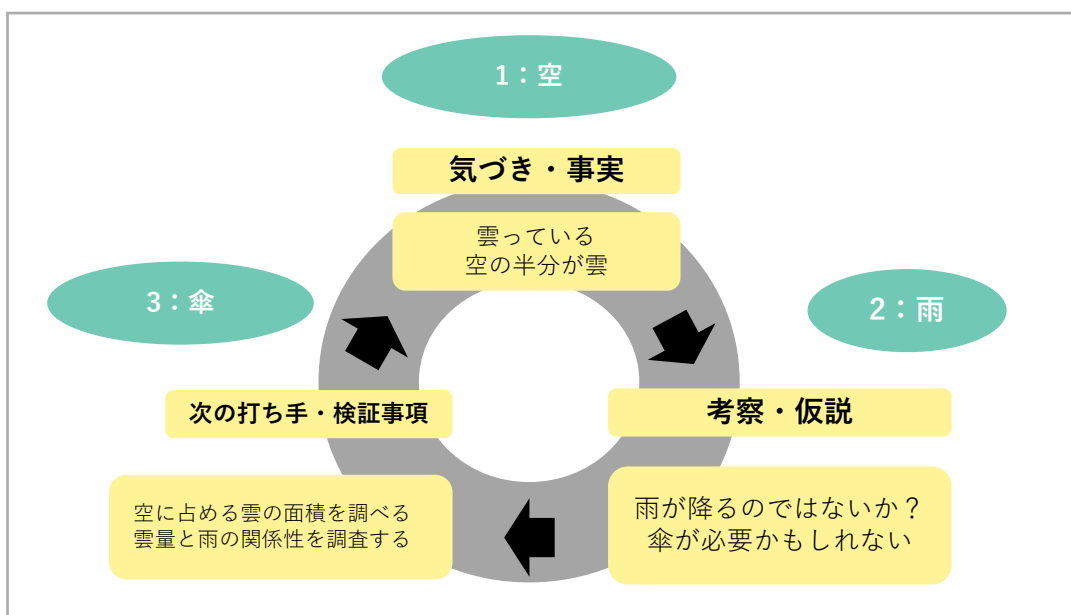
問いを具体化し、根拠を意識した設計を行うことが、実効性のあるEBPMにつながります。

#### 空・雨・傘サイクルとは

空・雨・傘サイクルとは、データを可視化した結果から、その意味合いを見抜き、どのような仮説検証を必要とするかを洗い出す有効な手法です。明らかにすべき課題を見つけ出すためのフレームワークとして、活用されています。

現状について可視化されたデータやグラフを読み解く際、それらから見てとれる「事実」と、その事実に対する「解釈」、そこから考え得る「解決策」を明確に区別することが必要です。これによって情報を整理することができ、データドリブンな意思決定を適切に行うことが可能となります。

#### 空・雨・傘サイクルの構成



## 6 WORKBOOK

### 自団体の現状を理解するデータで今を見える化する

#### 空・雨・傘サイクルとは

##### 空

いまどんな状況か？  
事実を確認する

- ・ **特徴的なポイントを見つける**  
折れ線グラフの急な増減/データが無いところ/クロス集計表であれば大きい・小さいところなど
- ・ **パターンを見つける**  
時系列グラフは「周期性（トレンド）」、散布図の方向性

##### 雨

事実をどう解釈するか  
を考える

- ・ **見えてくる線を引く**  
仮説や検証アイデアが生まれやすい

##### 傘

問題解決策や次に  
とるべき行動を提示

- ・ **想定を書き足す**  
本来ならこうなるはずでは？  
こうであればいいのに、など解決策にもつながりやすい

#### 分析計画立案とは

分析計画立案とは、問題を整理し、解決に向けたプロセスと必要な情報を明らかにするための重要なステップです。やみくもにデータを集めて分析するのではなく、「何を明らかにしたいのか」「そのために何が必要なのか」を事前に整理することで、効果的かつ効率的な分析につなげることができます。以下の項目に沿って、解決したい問題を段階的に具体化していきます。

##### データ分析計画立案項目

**効果指標** : 理想とすべき状態、モニタリングが可能な効果指標の項目

**分析目的** : データを活用して解決すべき具体的な課題（詳細課題）

**仮説** : 課題に関係する・影響を与えていると考えられる要因

**アプローチの視点** : 仮説で挙げた要素を明らかにするため、どのような可視化方法を用いるか

**必要データ** : 仮説を検証するために、必要とするデータ（項目など）、取得方法、期間などを具体的に定める